

日本臨床検査医学会 平成22年度 第1回
臨床検査専門医・管理医 審議会 だより

日時：平成22年6月13日(日)10:30~11:30
場所：日本臨床検査医学会 事務所
出席者：宮澤幸久，高橋伯夫，村上正巳，
土屋達行，佐守友博，村田 満，
東條尚子 各委員(8名)
欠席者：高木 康，玉井誠一 各委員(2名)

委員長挨拶(宮澤幸久 委員長)

宮澤幸久委員長より開会の宣言があり議事は進行された。

【報告事項】

1. 研修施設・指導者認定委員会報告

(村上正巳 研修施設・指導者認定 委員長)

2010年7月1日付再認定施設審査結果について

新規申請が1施設，1月1日付の書類提出遅れが2施設，通常の再認定申請が13施設あり，村上委員長から説明があった。

- ・越谷市立病院は当会での発表(学術集会，支部会，臨床病理誌)がないため認定はできず「保留」となり，発表がなされた時点で認定することとなった。
- ・未提出施設が3施設ある，富山市立戸山市民病院は当会への発表がないため申請を見合わせているとのこと，国立精神・神経センター国府台病院からは連絡はないが前任の検査部長が退職されたためと考えられ，他の専門医もおられるため理事長から確認をする予定，関西医科大学附属滝井病院は申請希望であるが書類作成が遅れているとのことであり提出を待つことになった。

2. 受験・更新資格審査委員会報告

(土屋達行 受験・更新資格審査 委員長)

平成22年度臨床検査専門医受験者 資格審査結果について

受験応募者23名のうち，21名が有資格(基本型：7名(臨床医学選択)，他領域の専門医資格者：14名)，2名は会員歴不足等のため受験資格なしと判定された。なお，再受験は3名で本年度受験者は合計

24名となる。

3. 平成21年度臨床検査専門医試験の条件付き合格者について(村田 満 試験実行委員長)

昨年の受験者で輸血検査が不十分のため，今年日本臨床検査専門医会の教育セミナーを受講することを条件に合格となった先生2名について，本年度の教育セミナーを受講したことを確認したことが報告された。ただ，昨年既に認定証を渡してあるが，今後，同様のケースがあった場合には認定証はセミナー受講後とすることとなった。

4. その他

試験委員会委員長について

事情により，副委員長の佐守友博先生に委員長代行をしていただくことになった。

【審議事項】

1. 第27回臨床検査専門医認定試験 試験実行委員会委員等について(村田 満 試験実行委員長)

試験実行委員(案)，試験当日のスケジュールが提出され，承認された。

2. 臨床検査専門医認定試験受験資格，認定試験内容について(宮澤幸久 委員長)

本会 臨床検査専門医は，日本専門医制評価・認定機構における専門医制度整備基準に沿ったものとして，本会臨床検査専門医制度承認されており，今後は合否判定の際に第3者が機構から派遣されるようになるなど，より厳格となる。現在，当機構の他の基本領域学会の専門医資格(内科は認定医も可)を有している者の会員歴は満3年以上となっているが，他の基本領域学会と受験資格を合わせるべく，満5年以上としていくこととなった。詳細は，受験・更新資格審査委員会で検討して答申していただくことになった。

3. 臨床検査専門医試験を受験しない場合の受験料の返還について(村田 満 委員長)

現在，専門医試験の受験料については，一度納入された受験料は返還しない。とされているが，受験資格なしとなった場合や，やむを得ない事情により当日受験できなくなった場合など返還を希望する声

があるため検討され、その結果、実際に返金はしないが、次年度以降の受験料に充当できることとした。ただし、この場合でも受験審査料としての費用は負担いただくこととなり、受験要領に記載する文言については、受験・更新資格審査委員会で検討していただくこととなった。

4. 評議員再任未提出者、辞退者について

(宮澤 幸久 委員長)

東北支部の評議員 2 名は、評議員辞退の意向のため、審査委員会で検討され承認された。

また、関東・甲信越支部の評議員 1 名は、本年 1 月 1 日付での再認定時に評議員再任の意向の確認ができなかったため、理事より意向を伺っていただくこととなった。

5. その他

今後の臨床検査専門医・管理医審議会日程について、下記の通りで確認された。

第 2 回：平成 21 年 8 月 8 日(日)10:30~11:30

第 3 回：平成 21 年 12 月 17 日(土)17:00~

日本臨床検査医学会 平成 22 年度 第 2 回理事会だより

日 時：平成 22 年 6 月 13 日(日)12:00~14:30

場 所：日本臨床検査医学会 事務所(東京都千代田区神田小川町 2-2 UI ビル 2F)

出席者：宮澤幸久理事長、高橋伯夫副理事長、米山彰子総務理事、村田満庶務理事

矢富 裕、宮地勇人、諏訪部章、

登 勉、村上正巳、前川真人、

ㇿ谷直人、渡邊直樹、荏原順一、

北島 勲、岡部英俊、日野田裕治、

山根誠久 各理事、一山 智 監事、

伊藤機一(同学院)、東條尚子(専門医会)、

磯部和正(自動化学会) 各連絡委員

(以上 21 名)

欠席者：玉井誠一、尾崎由基男 理事、

中原一彦 監事(3 名)

会に先立ち、宮澤幸久理事長から挨拶があり、諏訪部章 理事、北島勲 理事を 議事録署名人に定めて

理事総会の議事を進めた。

【報告事項】

1. 支部報告

各支部報告の支部例会・総会予定、支部地方会予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長、の退任・新任等について報告された。

北海道支部報告(渡邊直樹 支部長)

1. 支部総会の予定

第 44 回支部総会

日 時：平成 22 年 10 月 30 日(土)12:30~18:00

場 所：北海道大学大学院保健科学研究院

3-1 教室

総会長：千葉仁志(北海道大学保健科学研究院)

内 容：

1. 支部総会

2. 一般演題

3. パネルディスカッション

テーマ：臨床検査領域の医工連携：現状と未来

1) 基調講演

富山大学における医工連携の取り組み

講師：北島勲(富山大学大学院医学薬学研究部
臨床分子病態検査学講座、教授)

2) パネリストの発表

①原子間力顕微鏡によるリポ蛋白の 1 粒子計測

櫻井俊宏(北大保健科学院博士後期課程 1 年)

②カーボンナノチューブセンサーによる

過酸化脂質・酸化 LDL の測定

武田晴治(北大保健科学研究院病態解析学分野、
特任助教)

③光透視による生体機能計測

清水孝一(北大情報科学研究科
生体システム工学講座、教授)

3) 総合討論「北海道の医工連携の活性化に何が必要か」

事務局：札幌医科大学医学部臨床検査医学講座

TEL: 011-611-2111(3639)

東北支部報告(荏原順一 支部長)

1. 支部総会の予定

第 42 回支部総会(終了)

日 時：平成 22 年 5 月 15 日(土)10:00~18:00

場 所：弘前大学医学部コミュニケーション

日本臨床検査医学会ニュース

センター

総会長：保嶋 実(弘前大学大学院医学研究科
臨床検査医学 教授)

2. 支部例会の予定

第34回支部例会

期 日：平成22年10月30日(土)
場 所：コラッセふくしま
例会長：金光 敬二(福島県立医科大学
感染制御・臨床検査医学 教授)
事務局：今福裕司(福島県立医科大学
感染制御・臨床検査医学)
〒960-1295 福島市光が丘1番地
TEL: 024-547-1350
FAX: 024-548-6016

3. 支部人事の変更(検査関係の教授, 部長, 技師長の
の退任・新任等)

評議委員の辞任→山口一郎(山形県村山保健所)
評議委員の辞任→長井俊彦(福島県立医科大学医学
部学術情報センター)

山形大学病院 検査部 副部長 森兼啓太
山形大学病院 検査部 技師長 大沼沖雄(退任)
→ 佐藤智明(新任)
弘前大学病院 検査部 技師長 葛西 猛(退任)
→ 斎藤慶子(新任)

関東・甲信越支部報告(宮地勇人 支部長)

1. 支部総会の予定

第22回支部総会

日 時：平成22年11月27日(土)13:00~
場 所：杏林大学医学部附属病院
外来棟10階第一会議室
総会長：渡邊 卓(杏林大学医学部
臨床検査医学 教授)

2. 第28回日本医学会総会時の特別例会(推薦)

日 時：第28回日本医学会総会開催時
(平成23年4月8-10日)
特別例会長：中原一彦
(独法)大学評価・学位授与機構 教授)

東海・北陸支部報告(北島 勲支部長)

1. 支部総会の予定

第50回支部総会

期 日：平成23年3月13日(日)

場 所：金沢大学附属病院宝ホール

総会長：和田隆志(金沢大学)

内 容：

特別講演：尿中バイオマーカーの展望
湯沢由起夫 教授(藤田保健衛生大学)

シンポジウム：糖尿病と臨床検査の進歩

事務局：高村利治(金沢大学検査部技師長)

TEL: 076-265-2007,

email: takamura-knz@umin.ac.jp

第51回支部総会

期 日：平成24年3月

場 所：神奈川県熱海市

総会長：久谷直人(国際医療福祉大学教授)

2. 支部例会の予定

第29回支部例会

日 時：平成22年8月28日

場 所：福井市地域交流プラザ

例会長：吉田治義(福井大学教授)

内 容：腎臓病の扉をひらくキーワード

事務局：福井大学医学部附属病院検査部 山下政宣

TEL: 0776-8464,

email: myama@u-fukui.ac.jp

第30回支部例会

日時, 場所：未定

例会長：石井潤一(藤田保健衛生大学教授)

第31回支部例会

日時, 場所：未定

例会長：北島 勲(富山大学教授)

3. 支部人事の変更(検査関係の教授, 部長, 技師長の
の退任・新任等)

退任

中村栄男(名古屋大学付属病院検査部部長)

(平成22年3月31日)

新任

松下 正(名古屋大学付属病院検査部部長)

(平成22年4月1日)

湊 宏(金沢医科大学病態診断医学 教授,

同付属病院中央検査部部長)(平成21年4月1日)

松本裕之(名古屋大学付属病院検査部技師長)

(平成22年4月1日)

近畿支部報告(岡部俊英 支部長)

1. 支部総会の予定

第53回支部総会

期 日：平成22年12月11日～12日

場 所：奈良文化会館[メイン会場]、
奈良中小企業会館[サブ会場]

総会長：松尾収二(天理よろづ相談所病院
臨床検査部)

内 容：テーマ『まほろばにて温故知新』
明日につながる臨床検査

事務局(連絡先)：天理よろづ相談所病院
松尾収二 電話 0743-63-5611

2. 支部例会の予定

第55回支部例会(開催済み)

期 日：平成22年6月5日

場 所：神戸常盤大学 2201 講義室

例会長：片山善章(神戸常盤大学保健科学部
医療検査学科 教授)

テーマ：「新しい検査技術と知識の情報」

事務局：神戸常盤大学 向井正彦

3. 支部人事の変更(検査関係の教授、部長、技師長の
退任・新任等)

平成22年3月 神戸大学 熊谷俊一教授 退任

中国・四国支部報告(日野田裕治 支部長)

1. 支部総会の予定

第6回合同地方会(開催済み)

第55回日本臨床検査医学会中国・四国支部総会
(会長 小出 典男)

第150回日本臨床化学会中国支部例会・総会
(会長 通山 薫)

第20回日本臨床化学会四国支部例会・総会
(会長 土井 俊夫)

会 期：平成22年2月13日(土)～2月14日(日)

会 場：岡山大学医学部臨床第二講義室

総会長：杉浦哲朗(高知大学医学部
病態情報診断学講座)

第55回支部総会(H18年より総会・例会合同)

期 日：平成23年2月5日(土)～2月6日(日)

場 所：岡山市

総会長：日野田裕治(山口大学医学部附属病院
検査部長)

内 容：未定

事務局：中村準二技師長

(jnaka@yamaguchi-u.ac.jp)

2. 支部人事の変更(検査関係の教授、部長、技師長の
退任・新任等)

大島哲也(広島大学)

一開業(ご自宅)：評議員の異動

香川大学 田港朝彦 教授(功労会員)

平成22年3月末ご退任

九州支部報告(山根誠久 支部長)

1. 支部総会例会の予定

第56回九州地方

期 日：平成23年2月12日(土)

場 所：九州大学病院百年講堂

総会長：犀川哲典(大分大学)

事務局：犀川哲典(大分大学医学部
臨床検査診断学講座)

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1-1

TEL: 097-586-6037, FAX: 097-586-6059

E-mail: saikawa@oita-u.ac.jp

2. 各種委員会報告

A. 学術推進委員会(矢富 裕 担当理事)

1. 平成19～20年度学術推進プロジェクト研究課題に対し、「臨床病理」掲載用の報告書を取りまとめました。

2. 平成21～22年度学術推進プロジェクト研究課題の選択された課題に対して9月の臨床検査医学会(東京)で中間報告会を行うべく、企画、立案した。

3. 学術推進プロジェクト研究採用課題の学会報告を渡るケースが散見されるため、これに対して厳しい態度で臨むよう、先の札幌の検査医学会総会での委員会で申し合わせた。

B. 編集委員会(矢富 裕 委員長)

・平成21年度の臨床病理誌に掲載された優秀論文賞候補論文の選定を行い2論文を学会賞委員会に推薦したことが報告された。

・「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について—学会の見解—」の改定に合わせ研究倫理面を中心に行った投稿規定改定案が提案され審議された。研究倫理面での改定は問題はないが、当会員外からの投稿を受け付ける規定について

日本臨床検査医学会ニュース

は異論があり再検討することになった。

・投稿論文、座長推薦論文の新査読システムが提案され、主な内容は、新査読システムとして1投稿論文に対して1人の編集委員(主任査読委員)と2人の査読委員が担当すること、そして原則として当会評議員は専門領域の査読委員となること、また、座長推薦論文に関しては推薦座長が査読委員の1人を務めること等が提案され承認された。

C. 臨床検査点数委員会

(米山彰子 担当理事,委員長)

1. 平成 22 年度診療報酬改定での要望事項の採択状況(下線 : 採択されたもの)

日本臨床検査医学会からの提案

(1) 未収載項目

IgG サブクラス(IgG4)

血管内皮機能検査

(2) 既収載項目

外来迅速検体検査加算(増点)

骨髄像(増点)

生理検査に係る乳幼児加算

心電図, 呼吸機能検査, 超音波検査に係る

夜間休日加算

微生物学的検査(増点)

結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン

γ測定(増点)

生化学的検査(I)又は(II)に係る多項目包括

規定の見直し(削除項目の提案)

日本臨床検査専門医会からの提案

(1) 未収載項目

生理機能検査管理加算

(2) 既収載項目

血液採取(増点)

末梢血液像(増点)

プロトロンビン時間(増点),

トロンボテスト(減点)

染色体検査(増点)

血液細胞核酸増幅同定検査(増点)

遺伝病的検査(増点)

2. 内保連検査関連委員会 生体検査WGへの協力

3. 臨床検査点数委員会 6月10日開催

(臨床検査専門医会保険点数委員会との合同開催)

D. 精度管理委員会(宮地勇人 委員長)

1. CAP サーベイについて

2010 年度 CAP サーベイは順調に実施されている。

2. 『臨床検査室グローバルニュース』会員配布の増数(1→2冊)について

第1回理事会での審議・承認に基づき、2010年春号から2冊配布開始した。

配布に当たり、理事会での要請に基づき、下記文面を添付した。

1) 臨床検査室(臨床検査技師)等の職場回覧用の発送は、今後2年間行う。

2) 購読希望者は、日本臨床検査医会入会を勧める。

3. 測定前プロセスの標準化について

関連団体との協議体制については、学会執行部の指示待ち。

関連団体の候補 :

日本衛生検査技師会(各都道府県の技師会) : 既に豊富なデータを保有

日本衛生検査所協会

日本臨床検査標準協議会

E. EBLM 委員会(村上正巳 担当理事)

1) 第2回 EBLM データ解析研究会および委員会記録

日時 : 2010年2月21日(日)10:30~17:30

場所 : 虎ノ門病院 本館3階講堂

出席 : 石田・市原・稲田・片岡・佐藤・

西堀・山西・吉野

○プログラム

「臨床検査のための統計処理・データ解析技術の進歩と課題」

10:30~11:20

(1) 臨床検査における有意差検定のニーズと対応

稲田政則(虎の門病院)

11:20~12:10

(2) 方法間比較の統計学的手法と使い分け

佐藤正一(千葉県循環器病センター),

市原清志(山口大)

12:10~13:00

(3) システムティックレビュー・メタ分析の事例と

利用上の注意点

石田 博(山口大)

13:00~13:50

【EBLM 委員会】

13:50~14:15

(4) 検査値の季節変動・周期性の分析法

- 14:15~15:30
(5) 因子分析・共分散構造分析の理論と応用事例
三宅一徳(順天堂大) 山西八郎(大阪大)
- 15:30~15:40 --- 休憩 ---
- 15:40~16:35
(6) クラスタ分析の臨床検査への応用
片岡浩巳(高知大)
- 16:35~17:10
(7) 次世代の業務支援・診療支援システムをめざして
吉野 誠(A&T)
- 17:10~17:30
(8) 総合討論
- 2) EBLM 委員会(平成 22 年 2 月 21 日)議事要旨
(1) 市原委員長より、本年の学術集会において次の 2 つのセッションを提案している旨報告があり、委員間で意見交換した。
教育コース；下記のごとく、その後、内容が変更となった
「臨床検査医学のためのデータ解析法：その理論と使い方の実際」
- 1) 研究デザインと偏り：1 時間
2) 重回帰分析による検査値の変動要因の分析法：2 時間
3) 臨床検査の診断的有用性の評価法：ROC 分析 vs 多重ロジスティック分析：2 時間
ワークショップ；第 57 回学術集会では採択されず次年度以降に再度申請予定
EBLM のためのデータ解析技術の進歩：使い分けの実際と利用上のピットフォール
- 1) 方法間比較法の数理と使い分け(千葉県循環器病センター 佐藤)
・一致度とカッパ係数
・線形関係式の使い方(最小 2 乗法回帰, Deming 回帰/標準主軸回帰の違い, PB 法)
・ Altman plot の利用限界
- 2) 変動要因分析法の使い分け：枝分かれ分散分析 vs 重回帰分析(演者未定)
- 3) 臨床検査の相互関連分析の実際(大阪大学 山西)
・ 因子分析, ・ 共分散構造分析
- 4) 病態分類法と使い分け：階層化 vs 非階層化クラスタ分析(高知大学 片岡)
(2) 次のような意見があった。
- ・ 集客を図るにはニーズを十分に配慮する必要がある
・ 集客の観点からワークショップの表題は「論文作成に役立つ～」などかどうか
・ 過去の受講者にアプローチしてはどうか
・ 学会誌以外に日本臨床検査医学会ニュースや関連 ML にも告知してはどうか
- (3) 議論の結果以下の方針で準備を進めることになった。
・ 教育コースは従来から好評のため原案通りとする
・ 教育コースの研究デザインと偏りでは斯界の統計学的不備と要改善点を啓蒙する
・ ワークショップの 1) は関係式と予測式の違いと適切な回帰式に重点をおく
・ ワークショップの 2) は稲田委員にご担当頂き各統計手法の弱点も明示して頂く
・ ワークショップの 3) は新しい手法のトピックと位置づけ原案通りとする
・ ワークショップの 4) はデモンストラブルな応用事例を選んでご紹介頂く
- (4) 今回の研究会や今後のワークショップ、教育セミナーで積み上げた成果を基に、EBLM に関する実用的な解説書を来年の秋をめどに出版することとなった。
数理的なことをイラストを沢山使ってわかりやすく解説し、実用的な数値例を豊富に取り入れた内容をめざす。
- 3) 第 57 回学術集会での活動計画
(1) EBLM 委員会の開催予定
日 時：平成 22 年 9 月 10 日(金)時間未定
場 所：京王プラザ会場未定
- (2) 教育セミナー
メールでの協議により最終的に次の日程により、当初の内容を修正した形で、実施することとなった。
日本臨床検査医学会 第 57 回学術集会 EBLM 委員会教育セミナー
日 時：平成 22 年 9 月 12 日(日)
午前 9 時～午後 3 時
場 所：京王プラザ会場名未定
テーマ：臨床検査に必要な統計処理法の理論と使い方の実際

F. 検査項目コード委員会(村田 満 委員長)

平成 22 年度第 1 回検査項目コード委員会議事録

日 時：平成 22 年 4 月 28 日(水) 16:00~17:10

場 所：日本臨床検査医学会事務所(第 107 回
項目コード統一検討会同時開催)

出席者：村田満(委員長)、海渡 健、三宅一徳、
石黒厚至、井上勉、山田悦司、板橋光春、
岩崎真司(各委員)

委員会の冒頭、村田委員長から今回より委員とな
られた海渡先生、三宅先生の紹介があった。

また、山田委員から当委員会の活動概要について
の説明があった。

議題

前回議事録の確認

1. 前回(8/26)の、学術集内平成 21 年度第 2 回当
委員会議事録内容について異議のないことが確認さ
れた。

2. JLAC10 コード新規登録申請

平成 22 年度診療報酬改定で「新設」とされた検
査項目の分析物コード 3 件、および検査センターから
要望のあった分析物コード 1 件、材料コード 1 件
が申請され、協議の結果、下記内容で決済された。

【新設分析物名：新設分析物コード】

塗抹鏡検(抗酸菌集菌法)	6A206
パピローマウイルス-高リスク型	5F101
パピローマウイルス-低リスク型	5F102
α-D-N-アセチルガラクトサミニル	
トランスフェラーゼ、	
α-D-ガラクトシル	
トランスフェラーゼ	5H015

【新設材料名称：新設材料コード】

流産内容物	587
-------	-----

3. 検査項目コード委員会への質問対応報告

平成 21 年 8 月から平成 22 年 3 月までに試薬メー
カー、検査センターなどから、日本臨床検査医学会
検査項目コード委員会へ寄せられた JLAC10 コード
関連の質問とその回答(10 件)が報告された。

なお、その中に従来からある「独立した複数の項
目の結果値に基づいた、いわゆる『計算項目』には
JLAC10 コードを採番しない」という慣行について
の質問があり、その内容について議論した。

その結果、従来の慣行にとらわれず、今後検査項
目コード委員会が認めたものについては採番してい
くこととした(たとえば、CD4/CD8 比、LDL-コレス
テロール/HDL-コレステロール比(LH 比)、インス
リン抵抗性指数(HOMA-IR)、LDL-C(Friedewald の
推定式)、アルドステロン・レニン比(PAC/PRA)
など)。

G. 遺伝子委員会(宮地勇人 委員長)

**1. ファーマコゲノミクス(PGx)ガイドライン共同策
定委員会開催について**

目的：ファーマコゲノミクス(PGx)検査運用指針
の公開を踏まえて、治療を含めた臨床利用のための
ガイドラインを関連学会共同で策定する。

スコープ：①日常診療(保険診療、先進医療)、②
臨床研究(探索的、有用性確認)、③治験、市販後調
査、④副作用報告(義務)

第 6 回会議開催

日 時：2010 年 4 月 14 日(土) 13:30-16:30

場 所：東大医科研

出席者：鎌谷直之(日本人類遺伝学会遺伝薬理学
委員会委員長)、宮地勇人(日本臨床検査
医学会遺伝子委員会委員長、日本臨床検
査標準協議会；JCCSL)、植田真一郎(日
本臨床薬理学会ゲノム委員会委員長)、
谷川原祐介(日本 TDM 学会理事長)、
堤正好(オブザーバー、個人遺伝情報取
扱協議会理事長)

**2. 「遺伝学的検査に関するガイドライン(2010)」
作成準備委員会について**

目 的：日本医学会高久史磨会長から、2009 年
の 10 月 26 日に日本人類遺伝学会の中村祐輔理事長
と福嶋義光倫理審議委員会委員長あてに、ガイドラ
イン作成見直しの依頼あり。(遺伝子学的検査関連
の技術の進歩と診療での利用上の課題を踏まえて)

第 1 回作成委員会開催

日 時：2010 年 4 月 11 日(土) 13:30-17:00

場 所：東京女子医科大学 南別館 1 階会議室

出席者：関連 12 学会+血液学会、皮膚科学会、
耳鼻科学会、眼科学会、糖尿病学会代表
14 名、日本人類遺伝学会倫理審議委員
会 7 名、有識者(国際動向、医療情報、
164 ゲノムテクノロジー委員会 ELSI 分

科会)10名, 作成準備委員会協力者5名
総数36名

審議内容

- ・「遺伝学的検査に関するガイドライン(2010)」作成準備委員会開催に至る経緯説明
- ・日本人類遺伝学会「遺伝医学的検査に関するガイドライン」の経緯・趣旨
- ・今後の作成作業について
- ・スコープ(目的・範囲)について
- ・新ガイドラインの位置づけについて: 総論的なアンブレラとしてのガイドライン

H. 国際委員会(登 勉 担当理事)

11th International Congress of Asian Society of Clinical Pathology and Laboratory Medicine (ASCPaLM) 7th National Congress of Indonesian Association of Clinical Pathologists(合同開催)
会 期 : 2010年10月21日(日)~23日(火)
会 場 : Hotel Indonesia Kempinski-Jakarta
(インドネシア ジャカルタ)
会 長 : Dr. July Kumalawati

第11回 ASCPaLM 事務局から, シンポジウム演者の推薦依頼があり, 下記3名を推薦した。

1. Symposium 1: Competence based education of clinical pathologists

Dr. Toshiyuki Yamada

Department of Laboratory Medicine Jichi Medical University

2. Symposium 3: Country Experience on Laboratory Accreditation

Katsuo KUBONO, Ph.D.

Director, Accreditation Center

The Japan Accreditation Board for Conformity Assessment

3. Title: Role of laboratory information system (LIS) in laboratory management

Dr. Satoshi Kimura

Department of Laboratory Medicine, Showa University
Northern Yokohama Hospital

World Congress of Pathology and Laboratory Medicine の予定について

第26回 World Congress of Pathology and Laboratory Medicine

Host Society: American Society of Clinical Pathology (ASCP)

<http://www.ascp.org>

開催場所: Venetian-Plazzo Resort Hotel Casinos,
Las Vegas, Nevada, USA

開催日時: 2011年10月19日~23日

今後の予定(変更の可能性あり)

2010年5月28日~8月2日 Call for Proposals and Topics

シンポジウムや教育研修プログラムなどの企画提案を ASCP website

(<http://www.ascp.org/2011AnnualMeeting/>)

から申し込む

・ Suggest a topic for an educational program
教育研修プログラム: 取り上げてもらいたい内容を記載

・ Submit a complete proposal (specific program topic, format, faculty)

シンポジウムなどプログラム: 内容や演者など具体的な提案を書式に従って記載

2010年11月1日~12月31日

Call for Hot Topics in Education

2011年1月15日~4月30日

Call for Scientific Abstracts

2011年1月1日~8月15日

Early Bird Registration

2011年8月16日~

Regular Registration

第27回 World Congress of Pathology and Laboratory Medicine

Host Society: Canadian Association of Pathologists (CAP)

<http://cap-acp.org>

開催場所: Quebec City, Canada

開催日時: 2013年6月

日本臨床検査医学会ニュース

I. 標準化委員会(前川真人 担当理事)

学生用基準範囲について評議員からのコメントは5月末で締め切られ、長野県での共通の基準範囲についても考慮してほしいという意見があったこと、ついでには委員会で最終版を作成して学会HPにアップするとともに、関連学会などにも通知し、また、当初の目的でもあった国家試験の問題作成にも留意してもらおう厚労省にも報告する予定であることが報告された。

3. 臨床検査専門医・管理医審議会報告

(宮澤幸久 理事長)

午前中に開催された臨床検査専門医・管理医審議会での報告、審議内容について報告された。

4. 第57回日本臨床検査医学会学術集会報告

(宮澤幸久 会長)

平成22年9月9日(木)～12日(日)に東京の京王プラザホテルで、「『臨床検査の価値』その評価・そして未来に向けて」をテーマとして開催予定であり、その主なプログラム、特別講演、会長シンポジウム、シンポジウムなど、そして日程予定(仮)が報告された。

5. 第58回日本臨床検査医学会学術集会報告

(日野田裕治 中国・四国支部長)

第58回学術集会(小出典男会長)について、平成23年11月17日(木)～20日(日)に岡山コンベンションセンターで開催予定であることが報告された。

6. 第59回日本臨床検査医学会学術集会報告

(一山 智 会長)

平成24年11月29日(木)～12月2日(日)に国立京都国際会館で開催予定であることが報告された。

7. 関連団体報告

A. 日本臨床検査同学院

(伊藤機一 同学院 前理事長)

事業報告

1. 平成21年認定試験報告 (09/5/30 理事会以降)

①二級試験 受験者 1029名

合格者 636名 欠席者 46名 合格率 61.8

②緊急試験 受験者 485名

合格者 408名 欠席者 20名 合格率 84.1

③遺伝子分析科学認定士試験 受験者 93名

合格者 64名 合格率 68.8

④一級試験 受験者 31名

1次筆記合格者 2名 2次合格者 5名

登録者総数 209名

2. 第25回「緒方富雄賞」受賞式と公開講演会を下記にて開催した。

日時：平成21年11月14日(土)17:00～19:00

場所：学士会館本館

受賞者名：大島利夫(東海大学医学部付属病院)

金森きよ子(文京学院大学保健医療技術学部)

森下芳孝(名古屋大学医学部附属病院)

横尾ハル江(埼玉社会保険病院)

公開講演会

日時：平成21年11月14日(土)16:00～17:00

場所：学士会館本館

講師：鎌谷直之

(理化学研究所ゲノム医科学研究センター)

題目：遺伝学的検査の臨床応用の現状と近未来

司会：宮地勇人

3. 部会活動(主に実技講習会)

①臨床化学講習会：

平成21年3月8日(日)10:00～17:00

文京学院大学・受講者 44名

②微生物学講習会：

平成21年5月24日(日)9:00～17:00

順天堂大学・受講者 102名

③循環生理学講習会：

平成21年6月7日(日)9:00～16:30

虎の門病院・受講者 82名

④寄生虫学講習会：

平成21年6月14日(日)9:00～17:00

順天堂大学・受講者 96名

⑤病理学講習会：

平成21年6月21日(日)8:45～17:00

慈恵医科大学・受講者 69名

⑥東京大学臨床検査セミナー(共催)：

血液学 6月27日(日) 受講者 84名、

生理検査 11月14日(土) 受講者 59名。

⑦微生物学部会：英語勉強会1年間で開催。

受講者 17名。

- ⑧臨床化学英語：インターネット勉強会
1年間で開催。受講者34名。
4. 「通信」発行状況
・現在季刊として年4回定期発行されている。各号には試験問題解説を掲載。
・平成21年・第33巻「通信」巻頭言の執筆者
春季号：水口國雄，夏季号：島津千里，
秋季号：松尾収二，冬季号：高橋勝幸
・医学的基礎知識「血液学」掲載。
・よもやま話は神辺眞之先生の「呼吸生理検査」を掲載。
5. 関連学会・団体との会合の報告
・平成21年度
6月18日(木)日本サイトメトリー制度審議会・協議会会議
9月16日(水)認定輸血検査技師制度審議会会議
9月24日(水)認定輸血検査技師制度協議会会議
10月10日(土)認定臨床微生物指定講習会
・平成22年度
2月5日(金)公益信託臨床検査医学研究奨励金授与式
2月17日(水)認定臨床微生物検査技師制度審議会・協議会会議
3月18日(木)認定輸血検査技師制度審議会・協議会
3月20日(土)文京学院大学保健医療技術学部学位授与式
3月30日(火)日本臨床検査標準協議会総会・理事会
4月3日(土)文京学院大学保健医療技術学部入学式
5月21日(金)日本臨床衛生検査技師会定期総会
5月31日(月)日本臨床検査標準協議会総会・理事会
6. 平成22年事業計画
①理事会・各委員会の開催
②「緒方富雄賞」講演会の開催
③テキスト作成の準備
④6月19日・20日遺伝子分析科学認定士試験実施
⑤7月18日緊急検査士試験実施
⑥7月10日～8月1日二級臨床検査士試験実施
⑦10月，11月一級臨床検査士試験の実施
⑧各関連団体との強化
7. 平成22年認定試験志願者報告
①二級試験 志願者1102名
②緊急試験 志願者598名
③遺伝子分析科学認定士試験 志願者106名
8. 平成22年部会活動(主に実技講習会)
①臨床化学講習会：
平成22年3月7日(日)10:00～17:00
文京学院大学・受講者34名
②微生物学講習会：
平成22年6月6日(日)9:00～17:00
順天堂大学・受講者80名
③免疫血清学講習会：
平成22年6月6日(日)9:00～17:00
新渡戸文化短期大学・受講者29名
④東日本寄生虫学講習会：
平成22年6月13日(日)9:00～17:00
順天堂大学・受講者80名
⑤西日本寄生虫学講習会：
平成22年6月20日(日)9:00～17:00
川崎医科大学・受講者30名
⑥循環生理学講習会：
平成22年6月27日(日)9:00～16:30
駿河台日本大学・受講者70名
⑦病理学講習会：
平成22年7月4日(日)8:45～17:00
文京学院大学・受講者50名
⑧東京大学臨床検査セミナー(共催)：
血液学 平成22年7月11日(日)
⑨微生物学部会：英語勉強会を1年間で開催。
受講者22名。
⑩インターネット英語勉強会：1年間で開催。
受講者39名。
⑪病理学部会：管理・運営研修会を開催。
平成22年2月28日(日)受講者8名。
- B. 日本臨床検査専門医会**
(東條尚子 専門医会 庶務幹事)
平成21年度に実施した日本臨床検査専門医会平成22・23年度会長，監事選挙結果に基づき，新役員が決定し新体制となった。
会 長：渡辺清明
副 会 長：佐守友博，渡邊 卓
常任幹事：東條尚子，矢富 裕，山田俊幸，
土屋達行，村田 満，

日本臨床検査医学会ニュース

全国幹事：安東由喜雄，尾崎由基男，小田桐恵美，
康 東天，北島 勲，木村 聡，
熊坂一成，幸村 近，小柴賢洋，
三家登喜夫，諏訪部章，田窪孝行，
日野田裕治，船渡忠男，前川真人，
松尾収二，三井田孝，満田年宏，
宮澤幸久，盛田俊介

監 事：高木康，水口國雄

1. 幹事会報告

第1回全国・常任幹事会：1月22日(金)開催，日本臨床検査医学会事務局

平成22・23年度の各委員会委員が決定された。

第2回常任幹事会：3月12日(金)開催，日本臨床検査医学会事務局

教育セミナーの見直しを検討した結果，平成23年度からGLM教育セミナーを「臨床検査専門医会生涯教育講演会」とし，春季大会の会期中に開催する一般向け有料相談WGを専門医広告・啓発促進WG(村田満委員長)と改名し，日本臨床検査医学会広報委員会との合同WGとすることを提案

第2回全国幹事会：6月4日(金)開催，リーガロイヤル小倉

「臨床検査専門医受験生のための実技研修の受け入れ」についてのアンケートを実施することが決定された。

平成24年度春季大会の大会長は，日野田裕治教授(山口大)に決定された。

2. 平成22年度各種セミナー報告

第7回GLM教育セミナー：

4月25日(日)開催，八重洲ホール

担当；宮地勇人 教授，17名参加(欠席7)

第76回教育セミナー：

5月9日(日)開催，自治医科大学医学部

担当；山田俊幸 教授，27名参加(欠席2)

第77回教育セミナー：

5月23日(日)開催，順天堂大学医学部

担当；三井田 孝 教授，28名参加(欠席3)

3. 第20回日本臨床検査専門医会春季大会について

6月5日(土)に北九州国際会議場(大会長：大田俊行 教授)で開催された。

なお，平成23年度春季大会は，岩手で諏訪部章大会長のもと開催予定。

4. 第36回日本臨床検査専門医会総会

6月5日(土)北九州国際会議場

5. 第27回臨床検査振興セミナーについて

7月22日(木)東京ガーデンパレスにて開催予定

担当：佐守友博 渉外委員長

6. 第37回日本臨床検査専門医会総会および講演会について

9月9日(木)京王プラザホテルにて開催予定

7. 今後の幹事会開催予定について

第3回全国幹事会：9月9日(木)

場所：京王プラザホテル

第3回常任幹事会：10月22日(金)

場所：日本臨床検査専門医会事務局

第4回常任幹事会：12月17日(金)

場所：日本臨床検査医学会事務局

8. 事務局移転について

移転日：平成22年6月11日(金)

新住所：

〒101-0027 東京都千代田区神田平河町1番地

第3東ビル908号

TEL&FAX: 03-3864-0804

mail to: senmon-i@jaclp.org

URL: <http://www.jaclap.org/>

C. 日本臨床検査標準協議会

(宮澤幸久 JCCLS 常任理事)

平成22年5月31日に開催された第1回理事会での議事内容の平成21年度の事業報告，収支報告，各種委員会活動報告について報告された。

D. 日本臨床検査自動化学会(磯部和正 連絡委員)

平成22年度事業予定

1. 会議等

4月

第1回理事会 4/2

第1回POC推進委員会 4/2

第1回チーム医療実践推進委員会 4/2

第1回遺伝子・プロテオミクス技術委員会 4/2

第1回科学技術委員会 4/3

7月

茂手木賞選考会

座長選定委員会

10月

第2回理事会 10/7

評議員会 10/7

拡大編集委員会 10/7

第2回遺伝子・プロテオミクス技術委員会 10/7

10月10日(木)～12日(土)：横浜

第2回科学技術委員会 10/8

大会長：村上正巳(群馬大学)候補

第2回POC推進委員会 10/8

第2回チーム医療実践推進委員会 10/9

総会 10/8

会計監査 平成22年3月

編集委員会 平成22年3, 10月

2. 大会, 春季セミナー

- ・第42回大会(共催展示会)

日時：平成22年10月7日(木)～9日(土)

会場：神戸国際会議場

大会長：村田満(慶應義塾大学)

- ・第24回春季セミナー

日時：平成22年4月3日(土)

場所：神戸

例会長：康東天(九州大学)

3. 委員会活動

技術セミナー(科学技術委員会, 遺伝子・プロテオミクス技術委員会, POC推進委員会, チーム医療実践推進委員会)平成22年10月7日(木)

4. 刊行物

日本臨床検査自動化学会誌 :35巻1～5号

科学技術委員会マニュアル

5. 春季セミナー・大会予定表

2011年(平成23年)

- ・第25回春季セミナー

4月9日(土):富山

例会長：北島勲(富山大学)

- ・第43回大会

10月6日(木)～8日(土):横浜

大会長：矢富裕(東京大学)

2012年(平成24年)

- ・第26回春季セミナー

4月7日(土):高知

例会長：杉浦哲朗(高知大学)

- ・第44回大会

10月11日(木)～13日(土)：横浜

大会長：宮島栄治(横浜市立大学)

2013年(平成25年)

- ・第27回春季セミナー

4月6日：熊本

例会長：安東由喜雄(熊本大学)

- ・第45回大会

8. 第27回臨床検査専門医認定試験実行委員会委員 について(村田 満 委員長)

平成22年度の臨床検査専門医認定試験の実行委員会委員について報告された。

9. 日本専門医制評価・認定機構 社員総会 報告

(宮澤幸久 理事長)

日本専門医制評価・認定機構で策定している「専門医制度の基本設計(案)」について説明があり, 今後, 専門医制度については, より厳格な認定条件が求められる, 合否判定などに第三者が加わることになる予定であることなどが報告された。

10. 内保連検査関連委員会の報告(米山彰子 理事)

臨床検査分野については, 検査関連委員会を中心に内保連としての方針, 意見を取りまとめていきたいと考えており, この下部組織として生体検査の4ワーキンググループ(呼吸器, 循環器, 消化器, 神経・精神)をあらたに設置して検討していくことが報告された。

11. 臨床研究に関する利益相反対応について

(米山彰子 理事)

日本医学会から臨床研究に関する利益相反対応の現状についてのアンケート調査があり, 村上倫理委員長, 矢富編集委員長に回答をお願いしたこと, また, 7月15日(木)に日本医学会臨床部会利益相反委員会ならびに日本医学雑誌編集者会議合同シンポジウムが開催予定で, 同様に村上先生, 矢富先生に出席頂く予定であり, 本件については, 当会では, 村上正巳先生が担当されている倫理委員会で検討していただくことが報告された。

12. 11thASCPaLM・シンポジストについて(インドネシア 201010/21～23)(登 勉 理事)

国際委員会報告のとおり, 当会から3名のシンポジストを第11回ASCPaLM事務局に推薦したことが報告された。

13. 各関連団体への推薦委員について

(米山彰子 理事)

下記の通り推薦したことが報告された。

・日本医学会 評議員, 連絡委員, 医学用語委員および代委員の推薦について

評議員: 宮澤幸久先生, 連絡委員: 村田満先生, 医学用語委員: 高橋伯夫先生, 代委員: 玉井誠一先生

・内保連検査関連委員会の下 生体検査のワーキンググループ委員の推薦について

呼吸器: 東條尚子先生(専門医会からと兼務), 循環器: 古川泰司先生, 消化器: 宮澤幸久先生, 神経・精神: 大林民典先生(都立駒込病院)

・認定輸血検査技師制度協議会委員推薦について

鈴木洋司先生の後任として, 当初, 当会から高松純樹先生の了解を得て推薦したが協議会会長のため, 天野景裕先生(東京医大)を協議会が指名し当会が了承した。

14. その他(宮澤幸久 理事長)

事情により, 会計理事を村田満先生(庶務理事と兼務), 試験委員会委員長を現副委員長の佐守友博先生に, 代行として務めていただくことが報告された。

【審議事項】

1. 第9回特別例会長の推薦について(第28回日本医学会総会2011/4/8~10, 日本医学会分科会)

(宮澤幸久 理事長)

第28回日本医学会総会(東京)の開催に合わせ, 日本医学会分科会を当会では特別例会として開催する, その特別例会長として関東・甲信越支部から中原一彦先生が推薦され承認された。

なお, 当事務局担当予定の矢富裕理事より, 時間的に余裕がないため事前に会場選定を行い, 2011年4月16日(土)に東京大学鉄門講堂を予約できたことが報告された。

2. 平成23年度からの功労会員の推薦について

(宮澤幸久 理事長)

関東・甲信越支部から4名(菰田二一先生, 鈴木洋司先生, 水口國雄先生, 山口恵三先生), 東海・北陸支部から1名(石原明德先生), 中国・四国支部

から2名(周防武昭先生, 園部宏先生), 九州支部から1名(佐川公矯先生)合計8名が推薦され承認された。

3. 渉外委員会新規委員について(高橋伯夫 理事)

渉外委員会の新規委員として諏訪部章先生の加入が提案され承認された。

4. 検査法の名称の統一について(宮澤幸久 理事長)

検査法の名称が統一整理されず放置されているため混乱が生じている。厚労省からも統一についての要請があり, そのため, 本会の検査項目コード委員会を中心に関連団体と協力して検討していただくことについて諮られ承認された。

5. 本会60周年記念事業(式典, 記念史など)について(1951年11月20日臨床病理懇談会設立)

(宮澤幸久 理事長, 高橋伯夫 副理事長)

2011年11月20日に60周年を迎えるため, 記念事業(式典, 記念史(誌)等)を行うことについて検討され, 節目として行うことは有意義となり, 内容については常任理事会で検討していくこととなった。

6. WASPaLMとの契約更新について

(宮澤幸久 理事長, 村上正巳 WASPaLM 東京事務局長)

WASPaLM 東京事務局運営に協力をする契約が, 2010年5月末で3年間の契約切れとなるため, 前回と同様の内容で契約更新することについて諮られ承認された。

7. 評議員再任未提出者, 辞退者について

(宮澤幸久 理事長)

東北支部の評議員2名は, 評議員辞退の意向のため, 検討され承認された。また, 関東・甲信越支部の評議員1名は, 本年1月1日付での再認定時に評議員再任の意向の確認ができなかったため, 理事より意向を伺っていただくこととなった。

8. その他(米山彰子 総務理事)

今後の理事会等日程の確認を行った。

平成22年度第3回理事会: 8月8日(日)12:00~, 第4回理事会: 11月13日(土)12:00~

閉会の挨拶（高橋伯夫 副理事長）

高橋伯夫副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

第5回九州遺伝子診断研究会の開催案内

九州遺伝子診断研究会会長
熊本大学大学院生命科学研究部病態情報解析学分野 教授 安東由喜雄

5年前より開催しております九州遺伝子診断研究会の今年の開催をご案内致します。

テーマ「ファーマコゲノミクスの現状と将来への展望」

1. 開催期日：平成22年10月16日（土）13:00～16:45（受付12:00～）
 2. 開催場所：佐賀大学医学部内 臨床大講義室
 3. 内容：一般演題4題
特別講演1題：演者 名古屋大学呼吸器内科学講座 教授 長谷川好規
演題 ファーマコゲノミクス検査の歩み
 4. 参加費：1000円
 5. 問合せ先：第5回九州遺伝子診断研究会開催事務局
佐賀大学医学部分子生命科学講座 出原賢治
TEL:0952-34-2261 FAX:0952-34-2058 e-mail:kizuhara@cc.saga-u.ac.jp
-